

スポ協

第148号

令和8年4月15日

いよいよ

発行：特定非営利活動法人 飯山市スポーツ協会 / 〒389-2251 飯山市大字旭 4722 飯山市民体育館内 印刷：(有) 足立印刷所

祝

ミラノ・コルティナ
2026 冬季オリンピック出場

スキークロス

小林 竜登 選手

太田堀之内



小林竜登選手市長表敬訪問及びオリンピック出場報告

写真提供：飯山市

飯山市スポーツ協会のホームページで本紙のカラー版を見られます。

広告の掲載を募集しています。



ホームページの
QRコード



天皇杯は重かった



長野県スポーツ協会副会長
飯山市スキークラブ名誉会長
高橋信夫

第80回国民スポーツ大会のスキー競技会は、令和8年2月14日から17日まで青森県大鰐町(ジャンプ、コンバインド)競技は秋田県鹿角市)で開催された。

国民スポーツ大会は言うまでもなく都道府県対抗の競技会で、出場できる年齢は15歳(中学3年生)からで上の年齢制限はない。種目はアルペン、クロスカントリ、ジャンプ、コンバインドで、年齢ごとに組が分かれ、各組ごとに得点は1位が8点以下1点ずつ減って8位が1点となるが、同じチームの入賞者が3名以上いた場合、上位2名しか得点対象にならず、8位までの表彰

とは別に得点に関しては9位以下の県の選手が繰り上がって得点の対象という独特のルールがある。

長野県は選手、監督、コーチ、トレーナー、ドクター、ワックスマンそれに本部役員を含め総勢70名を超える全国一の数の選手団で、2月12日に現地入りをした。青森県はそれまでの大雪の影響で街の道路わきには雪の山が残っていて、片側2車線が1車線しか使えないようなところもあり、そんな光景を見てみると、飯山市の除雪隊の優秀さを改めて感じる。2月13日には長野県の全選手が一堂に会して結団式をやる予定だったが、宿舎が種目ごとに分散しており、クロスカントリーの選手だけで結団式を行い、北海道に勝って高め、「レッツゴー長野!」の応援コールを全員で行って氣勢をあげた。

14日には開始式が平川市の交流センターで開催された。座席数が「なちゅら」くらいの建物、各都

道府県チームに用意された席は5席で、選手の参加よりも本部役員だけのところがほとんどだ。式は歓迎アトラクションのあと、中央競技団体のあいさつや青森県の歓迎のあいさつが行われ、最後に選手宣誓が行われて終了、午後3時に始まってわずか45分という短さに、周囲からは都道府県の紹介も無いのはおかしいのではという話が聞こえてきた。

この話の聞きかたは、飯山市の設置もなく、何か盛り上がりにかけているように多くの人が感じたのではないかと思う。

競技は15日から始まり、アルペンとクロスカントリーは大鰐温泉スキー場で、ジャンプ、コンバインドは秋田県鹿角市で行われた。初日の成績はジャンプで北海道が強く、長野県は10点差をつけられたの総合2位という成績だった。16日は長野県勢がそれぞれの種目やクラスで優勝したり、複数名が入賞するなど得点を重ね、2日目で北海道に28点の

差をつけてトップになった。3日目最終日はアルペンの少年組とクロスカントリーのリレー成年男子、少年男子、女子の3種目が行われた。結果はアルペンが2位に入り、リレーは成年男子と少年男子は3位、そして女子は期待通り優勝した。その結果として北海道に24点差をつけて実に8年ぶりに男女総合優勝をすることができた。

全ての競技が終了し、午後4時から平川市で表彰式が行われた。初めに男女総合と女子総合のそれぞれ8位までの表彰があり、そのあと天皇杯授与が行われた。事前に渡された白い手袋をつけて登壇する。天皇杯はブロンズのトロフィーで台座を含めて50cmぐらいの大きさか、団長としてこれまでの3年間、いつも北海道が授与されるのを見ていたが、今回いよいよ自分が受け取るという緊張感で肩に力が入る。授与者と向き合い、一礼、ついに念願の天皇杯を受け取る。選手も裏方も「チーム長野」として自分

の果たす役割を理解し、一丸となって競技に臨んだ、そんな思いの詰まった天皇杯はズシリと重かった。

追記、今年も歓声や悲鳴、笑いあり涙あり、そして興奮と感動の3日間でした。それぞれが郷土の代表として、世界で戦っている選手と一般の雪無し県の名もない選手が同じ国スポという大会で競技する。リレー競技などは優勝争いに無縁であっても声を枯らして自分のチームを応援する姿には胸を打つものがあります。お互いの健闘を称え合い、交流が生まれる。これこそが国スポの良さであり、開催する意義だと思います。同じ時、同じ場所、同じ空気を吸う、この一体感はその間にいる者にしか味わえない貴重なものが確かにあります。



スキークラブ



飯山市スキークラブ

高橋 伸

小雪だったスキーシーズンが終了しました。今シーズンも飯山市出身の選手が大活躍のシーズンとなりました。一番の盛り上がりはミラノ・コルティナオリンピックにスキークロスで出場した、小林竜登選手ではないでしょうか。競技当日はパブリックビューイングが開催され、大応援が送られました。

全国中学校スキー大会では、クロスカントリイ競技男子フリーで齊藤隆希選手が準優勝。また、男子リレーで優勝したメンバーには齊藤選手のほか、小林蒼介選手も活躍しました。同じくクロスカントリイ競技女子では、田中希果選手が3冠達成と素晴らしい活躍でした。

全国高等学校スキー大会では、ジャンプ競技女子スペシャルジャンプで坂本季花選手が準優勝し、

総合成績で飯山高校男子は優勝、女子は第3位の活躍となりました。

一般選手では、小林千佳選手が全日本選手権クロスカントリイ競技女子フリーで優勝、国スポでは準優勝など素晴らしい結果を残しました。

いよいよ飯山での国スポ開催が、再来年になりました。今後も国スポのほか、全国で活躍できるジュニア選手の育成に取り組んでいきたいと思えます。



50の手習い その2



弓道会

山田真紀

一足先に弓道を始めていた友人に誘われ、25年ぶ

りに弓道を再開しました。老若男女8名での初級教室からのスタートです。驚いたことに、そのうち3名が中学生！近年は「国宝」や「鬼滅の刃」などを通じて日本文化や武道が世界的に注目されていますが、こうした影響もあるのでしょうか。

美しい所作や心を静め精神を統一する時間は、武道ならではの魅力の一つですね。弓道の奥深い世界に、きつと惹き込まれていくことでしょうか。

25年の歳月の中で身体や道具には変化がありましたが、一度身についた感覚は「身体が覚えている」ものです。先生方の丁寧なご指導のもと、大会や昇段審査にも挑戦しています。

こうして人生の折り返し地点に立ち、新たな弓道ライフが始まりました。実りある時間を一緒に追求してみませんか？

- 弓道が初めての方
- 再開したい方
- 心と身体を整えたい方

飯山道場でお待ちしています。



柔道教室の指導に協力を



柔道連盟 坪井清仁

飯山市の柔道連盟に加え、活動に参加し協力している方々は、現在5名程で日々の仕事の忙しい中、合間を見つけて活動していたらだいています。

年齢を見ても50過ぎの集まりで若い人がいない団体である。

柔道教室においても、生徒は小中学生が5人で飯山市内から通っている生徒は2名で他の3名は市外から通っている。又指導者は2名が頑張っている他、現在学生の教え子たちが、休みで実家に帰省した時には一緒に指導してくれる。

このような状態では、新しく柔道を学びたいと入門して来ても新しく入門した生徒には指導不足になつていく。

今、私自身もなかなか教室に顔を出せない状態にある。新たに入門した生徒などは、基本的な柔道の動きや体捌きは、経験者であれば出来るので、仕事が落ち着き時間が出来た人は、道場に顔を出して協力していただければ、ありがたく存じます。

飯山市だけで無く、近隣市町村の子どもの人口が減少し、学校の事業でも柔道が行われなくなつた今、子ども達に柔道を体験させたいと、思っている。

ジャンプ少年団
活動報告



ジャンプスポーツ少年団
鷺森秀樹

春の気配が色濃くなり、今シーズンの雪上トレーニングも無事に終了の時期を迎えました。保護者の皆様、そして日頃より温かく見守ってくださる地域の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

部員の主体は小学生・中学生です。ジャンプ台で、たった二人でスタートゲートに座り、急斜面へ飛び出していく種目なので、踏み切りのタイミングも、空中での姿勢も、すべて自分自身の判断と勇気にかかっています。自分の恐怖心や弱さとの戦いでもありません。しかし、今シーズンも選手達を見ていて強く感じたのは、彼らが決して一人で飛んでいるわけではなく、誰かが自己ベストを更新して満面の笑みでブレーキングトラックを滑り降りてきた時、自分のことのように歓声を上げて喜ぶ仲間たちがいました。思うような飛躍ができず、悔し涙をこらえながら板を外す選手には、そっと寄り添い、励ましの声をかけるチームメイトの姿がありました。個人種目でありながら、お互いの葛藤や、空へ飛び出す怖さを痛ほど理解しているからこそだと感じます。一人ひとりが自分の限界

に必死に挑みながらも、チーム全体で支え合い、共に成長していったのが今シーズンの収穫です。

雪は解けましたが、またすぐにサマーシーズン。これからはサマージャンプやトレイルや陸上でのトレーニングへと移行し、来たる冬に向けて再び基礎を練り上げる日々が始まります。2028年に地元で開催される国民スポーツ大会という大きな舞台を見据え、子どもたちの可能性はさらに大きく広がっていきます。向かい風を味方につけ、より高く、遠くへ。これからも子どもたちと共に、スタッフ一丸となってより高みを目指してまいります。今後とも、ジュニアジャンプ少年団への変わらぬご声援を何卒よろしくお願い申し上げます。

(現在、ジャンプ少年団では随時団員を募集しております。見学や体験も行っておりますのでお気軽にお問合せください) 090-3046-5915 (鷺森)



低年齢化



飯山クラブジュニア
(卓球)スポーツ少年団

石澤誠直

昨今、ジュニアチームを経験し

てくれた高校生(1年生)が県大会へ出場、と、嬉しいお知らせをいただきました。

ここ1年、中学になってから卓球を始めた市外の子が数名、ジュニアの練習に参加してくれており、先日、その中から2名が県大会へ出場することができた、と、これまた嬉しいお話を伺う事ができました。

「初めて参加した大会では誰も1セットも取れず、悔しくて肩を組んで涙を流していた」と親御さんから聞いて数カ月が経過し、いつの間にか仕事も堂々とするようになり「サマ」になつてきたように感じます。

オリンピックや全日本といった大きな大会での成績だけを目指して練習をする、とは言いませんし。子供の人生は子供が決める、という考え方も二面ではあるとは思いますが。経験として、早い時期から競技や学び等に携わり、これらを取り巻く環境等も含め、様々な体験をしていただく事も大切な思い出や糧になるのではないかと思います。

全国区や県下でシードに名前が連なる選手も小さいときから競技に携わっている方が多く、私たちも受け入れの体制を整えておりますので、大勢の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

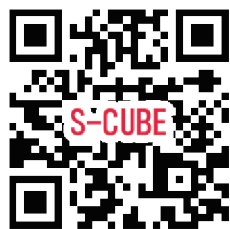


株式会社スワロースキー



〒389-2255 飯山市静間1389-5
TEL 0269-62-4266

ONLINE SHOPは
こちらから



<https://s-cube.shop>

スポーツ用品各種取り揃えております

- LPガス
- 日用品
- 事務用品
- スペアキー
- 荒物雑貨
- 家庭燃料
- 塗料
- 清掃用具

有限会社

島田義雄商店

長野県飯山市南町22-2
TEL 0269-62-3016
FAX 0269-62-2962